



1 第54回通常総会の開催

第54回通常総会が、平成23年5月24日午後3時30分から東海大学校友会館において開催された。

総会議長に安元副会長が選出され審議が行われ、平成22年度の事業報告・決算報告、平成23年度事業計画・予算について承認された。

また、公益法人改革に伴う一般社団法人への移行のための「定款案」の一部改正の承認が行われた。

つづいて、役員を選任について審議がおこなわれ、4月に行われた正会員全社の記名連記式投票による選挙の結果から第1回理事会で選出された正会員理事13名と、特別会員から推薦された理事9名、監事2名が全会一致で承認された。



第54回通常総会であいさつする羽矢前会長

会長、副会長、専務理事の選任

総会を一時中断して開催した理事会において、会長、副会長、専務理事の選任について協議した結果、会長には、古川 実氏(日立造船株式会社代表取締役 取締役会長兼社長)が、また副会長に安元 豊氏(日立造船株式会社)と田中 勉氏(株式会社タクマ)、専務理事に木下正明氏((社)日本環境衛生施設工業会)がそれぞれ選任され、再開後の総会で報告された。



新会長に選任された古川氏

会長表彰

工業会の事業活動に永年貢献された功績により、角田芳忠氏(株式会社タクマ)、小木 均氏(日立造船株式会社)、箱田光治氏(株式会社川崎技研)、山田良介氏(新日鉄エンジニアリング株式会社)の4氏が会長表彰を受け、受賞者を代表して山田氏から謝辞があった。



会長表彰を受賞した4氏
(左より箱田氏、小木氏、角田氏、山田氏)

2 一般社団法人への移行

公益法人制度改革への対応として、平成23年1月31日内閣府に対して移行認可申請を行い、平成23年6月24日に内閣総理大臣の認可を受けた。これにより平成23年7月1日(移行登記日)付けで「一般社団法人 日本環境衛生施設工業会」に移行した。



臨時総会であいさつする古川会長

3 臨時総会の開催

一般社団法人移行登記日の7月1日を境にして、事業年度を法令により区分する必要が生じたため、平成23年9月5日午後3時30分から東海大学校友会館において臨時総会が開催された。

臨時総会議長に安元副会長が選出され審議が行われ、平成23年4月1日から6月30日までの3ヵ月(特例民法法人(移行前の社団法人)としての最終事業年度)の事業報告・決算報告を行うとともに、平成23年7月1日から平成24年3月31日までの9ヵ月(一般社団法人の初年度)の事業計画・予算について審議が行われ承認された。

また、総会終了後、環境省の山本廃棄物対策課長から「環境省の東日本大震災への対応について」講演が行われた。



議長の安元副会長



臨時総会後に講演する環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部の山本廃棄物対策課長

4 理事会の開催

次の各日程及び議題により、理事会が開催され審議が行われた。

◇平成23年5月10日(第1回)

- ・正会員の退会及び理事の辞任について
- ・特別会員への入会の承認について
- ・① 特別会員の理事又は監事への推薦について

② 正会員の理事の選出について

- ・会長表彰について
- ・第54回通常総会議案について
- ・今後の工業会活動の活性化を目指すための検討について

◇平成23年5月24日(第2回)

- ・会長、副会長、専務理事及び常任理事の互選について
- ・顧問について

◇平成23年6月13日(第3回)

- ・正会員への入会の承認について

◇平成23年8月30日(第1回)

- 一般社団法人として第1回目の理事会
- ・理事の業務分担について
- ・常任参与の選任について
- ・「企画運営委員会規程」及び「技術委員会規程」の一部改正について
- ・理事会議長を代行する時の副会長の順序に関する理事会決定について
- ・臨時総会議案について
- ・職務の執行状況報告について

5 環境大臣表彰

廃棄物等の発生抑制、循環的な利用及び適正処分又は浄化槽によるし尿及び、雑排水の適正処理に関する研究開発、技術開発において、学術的、実用的に優れた業績を上げ、その成果によって廃棄物処理事業又は浄化槽関係事業の発展に対する顕著な功績により環境大臣表彰(廃棄物・浄化槽研究開発功労者)が、札本泰克氏(株)IHI)と大森重明氏(三機工業(株))に授与されることになり、平成23年10月25日に仙台市の仙台国際センター会議場で開催された第55回生活と環境全国大会の式場で表彰状が授与された。

後日、表彰を受けた2氏に対し、工業会から記念品が贈呈された。



大臣表彰を受けた大森氏(左)と札本氏

6 東日本大震災対策について

平成23年度の重点取組みとして東日本大震災対策を積極的に取組むため、環境省、地方公共団体、関係団体と連携・協力しつつ廃棄物処理施設の復旧や災害廃棄物対策に取り組んだ。

具体的には、①廃棄物処理施設の被害状況の収集・把握を行いあわせて、廃棄物処理施設の復旧、稼働開始の見込みなどを国に提供した。②災害廃棄物の処理に関する過去の経験、情報を国に提供した。③廃棄物処理施設の復旧や災害廃棄物対策に対応するため、企画・技術の合同委員会の中に委員会を設置し活動している。

7 建設運営一体事業研究会セミナーの開催

・平成23年8月18日に、中央労働災害防止協会労働衛生調査分析センター副所長の山田憲一氏に「電離放射線障害防止規則および災害廃棄物の取扱等」について講演をいただき、会員会社から35名が聴講した。

・平成23年9月13日に、(独)国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター長の大迫政浩氏に「放射性物質に汚染された廃棄物問題への対処」について講演をいただき、会員会社から28名が聴講した。

・平成23年12月19日に、(社)全国都市清掃会議技術部長の荒井喜久雄に「廃棄物処理施設の事業方式と総合評価落札制度について」講演をいただき、会員会社から33名が聴講した。

8 関係団体との共催

・平成23年5月27日に、一般社団法人環境衛生施設維持管理業協会(JEMA)と工業会の技術委員により情報・意見交換等の検討会を開催し相互理解を深めた。

・平成23年6月29日及び11月28日に、社団法人日本廃棄物コンサルタント協会と工業会の技術委員により情報・意見交換等の技術交流会を行った。

9 新処理技術施設見学会の開催

平成23年度の施設見学会は、12月15日に、沖縄県中部北環境施設組合 美島環境クリーンセンターを対象に行った。鳥取環境大学 田中勝教授を団長に会員会社から21名が参加した。



美島環境クリーンセンター施設見学への参加者



沖縄県中部北環境施設組合 美島環境クリーンセンター

- 10 関係団体等の各種委員会等への参画** 6 科目(6 名)
- 1) (社)全国都市清掃会議 ③ 破碎・リサイクル施設コース
 - ・「都市清掃」編集委員会 19 科目(19 名)
 - ・研究事例発表会 実行委員会 ④ 有機性廃棄物資源化施設コース
 - 2) (財)日本環境衛生センター 5 科目(5 名)
 - ・「生活と環境」編集委員会 ⑤ ごみ処理施設コース 4 科目(4 名)
 - ・廃棄物処理施設技術管理者講習会 運営委員会 ・平成 23 年度「技術管理者等スキルアップ研修会」
 - 3) 一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 ① ごみ処理施設関係 2 科目(2 名)
 - ・「環境技術会誌」編集委員会 ② し尿処理施設関係 2 科目(2 名)
 - ・「廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定システム」運営委員会 2) (財)日本産業廃棄物処理振興センター
 - 4) (財)日本産業廃棄物処理振興センター (講師派遣延 9 名)
 - ・「テキスト作成委員会」 ・産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の収集・運搬/処分課程(更新講習会)
 - ・「教育研修運営委員会」 3 科目(3 名)
 - 5) 一般社団法人廃棄物資源循環学会 ・産業廃棄物の収集・運搬/処分課程(新規講習会) 6 科目(6 名)
 - ・アジア太平洋廃棄物専門家会議実行委員会 ワーキンググループ
 - 6) (財)廃棄物研究財団 3) 中央労働災害防止協会 (講師派遣延 12 名)
 - ・し尿・浄化槽汚泥からのリン回収・利活用推進検討会 ・「ダイオキシン類業務に係る作業指揮者養成研修会」(東京分) 8 科目(8 名)
 - ・「ダイオキシン類作業従事者特別教育インストラクターコース」(大阪分)
- 11 関係団体等の各種講習会等への講師派遣**
- 1) (財)日本環境衛生センター 4 科目(4 名)
 - (講師派遣延 40 名)
 - ・平成 23 年度「廃棄物処理施設技術管理者講習会」
 - ① 中間処理施設コース 2 科目(2 名)
 - ② 産業廃棄物焼却施設コース
 - 4) 一般社団法人 環境衛生施設維持管理業協会(JEMA) (講師派遣延 2 名)
 - ・中央研究集会 1 科目(1 名)
 - ・事務所管理者研修会 1 科目(1 名)